

平成29年度 町政執行方針



向山 富夫 町長

我が国の経済状況は雇用・所得環境が改善し、緩やかながら回復基調にあります。個人消費や民間設備投資は所得、収益の伸びと比べ力強さを欠いた状況となっています。

当町においても地方税収入の大きな伸びが見込めない中、歳入の大きな比率を占める地方交付税において一定程度の減額が避けられない状況であり、歳出では公債費の増加、少子高齢化への対応、自然災害への防災対策など継続的な財政需要が見込まれます。

本年度予算については、私たちが「町民の皆さんが安心して住み続けられるまちづくり」を念頭に、これまでの課題への対応をはじめ、それぞれの事業の緊急性や優先性などを十分考慮し、今後見込まれる財政需要に対する財源確保の状況を見極めながら、予算編成を行いました。

人や地域とつながりのある暮らしづくり

農業が町の基幹産業として安定して持続できるよう、本町の特産や課題に対応しつつ「第7次農業振興計画」「農業・農村実践プラン」の実現に向け取り組みを進めます。

また、一番身近な消費者である町民に地元農畜産物への信頼や安心感を高めるため、第2回目となる「収穫祭」などを通して地域農業や地元農畜産物への理解を深めていただくほか、生産者のさまざまな取り組みが経営の安定につながるよう支援します。

本年度は三重県津市との友好都市提携20周年の節目を迎えることから、両市町による相互の訪問事業などを実施し友好の絆を深めます。



昨年の第1回「収穫祭」

穏やかに安心して過ごせる暮らしづくり

新たに始まる総合事業ではサービス水準の維持、利用者のニーズに即した多様なサービスの提供と介護予防事業の充実により高齢者の自立、重度化を予防します。

子育て世帯の低所得者対策として医療費助成を従来の対象に加え均等割のみ課税世帯まで拡充(中学生までの通院・入院医療費の自己負担分を全額助成)するほか、保育料の無償化により子育て支援の充実を図ります。

観光振興では恵まれた自然景観や食資源を生かした戦略的な取り組みのほか、閑散期対策の取り組みや各種イベントの実施・支援を行います。

快適で楽しく潤いある暮らしづくり

本年度は「健康かみふらの21計画」の中間評価と「上富良野町保健事業実施計画・上富良野町食育推進計画」の評価年に当たることから、評価分析に基づき見直しと併せ、第2期の「上富良野町保健事業実施計画」を策定し、健康づくりの課題の明確化と効率・効果的な保健指導を強化します。

また、7月から運用のマイナポータルでの各種申請手続きに対応することにも、マイナンバーカードによる戸籍・住民票などのコンビニ交付サービスを導入し利便性の向上を図ります。

地域の宝を守り・育み・活用できる暮らしづくり

十勝岳ジオパーク構想では本年度認定申請に臨みますが、町民の皆様や関係者のご協力をいただきながら、地域全体の活動となるよう取り組みます。

また、上富良野開基100年の節目の年に当たることから、記念事業としてNHK公開番組の開催のほか、既存事業のブラッシュアップ、記録映像の製作など多くの町民の心に残る年となるよう取り組んでいきます。



ジオサイト選定のための調査登山三段山山頂から安政火口を解説

誇りと責任・役割を分かちあえる暮らしづくり

農業委員会事務局と本年度新たに設置する農業振興課をJAふらの上富良野支所内に事務所を移転し、農政部門のワンストップ化により農業施策の推進体制を強化します。また、地域の活性化、地域創生を推進していくため企画・商工観光業務を一体的に取り組み企画商工観光課を設置します。

平成29年度 教育行政執行方針



服部 久和 教育長

少子高齢化の進行や人口減少社会の到来、グローバル化の進展、情報通信技術の発達が生社会にさまざまな変化をもたらしており、地域の発展を支える教育の役割がますます重要となる中、「人と人との支え合い」「ふるさとを愛する心」「子どもたちの主体的な行動」「優しく人を思いやる心」は、本町の教育の原点であると考えています。

このような認識のもと「上富良野町教育振興基本計画」「第8次社会教育中期計画」「町教育大綱」の重点施策を積極的に推進し、明るく、笑顔があふれる教育行政に取り組みます。

また「総合教育会議」を通して町長と教育委員会が教育への思いを共有することで「一体感とスピード感」を大切にするとともに、すべての教育関係者がそれぞれの役割と責務を自覚し、教育行政の推進に努めていきます。

学校教育の推進

「夢ひろげ、たくましく未来を切り拓く児童生徒の育成」の基本方針をもとに各種目標達成に努めるとともに、保護者・地域・学校が連携し、地域とともにある学校をめざす「コミュニケーション・スクール導入に向けて準備検討」を進めていきます。

昨年度の全国学力・学習状況調査では小学校の国語と算数においては正答率で全国平均を下回りましたが、中学校の国語は全国平均程度、数学では全国平均より高い傾向が続いています。各学校ではさまざまな分析から「確かな学力の育成プラン」を作成し学力向上の目標を設定するとともに、日常学習における具体的方策を小中学校が連携して全校体制で進めていきます。

教育環境の整備では上富良野中学校特別教室棟の改築・改修、体育館の暖房機器更新の実施設計のほか、東中学校の暖房機更新を実施します。

国際理解教育では、昨年8月から外国語指導助手を新たに1名採用し、2名体制での外国語活動を実施しています。この新たな体制については、英語・外国語活動推進委員会において興味・関心を高め、本場の英語に慣れることを目標に配置や効果的な指導方法についてさらに検討・推進を図ります。また、引き続きこども園、保育園、上富良野高校への派遣も含め、国際理

ここに掲載しているのは抜粋です。

全文は町の行政ホームページか、役場1階町政情報提供コーナーでご覧ください。

解教育の総合的な推進に努めます。道立上富良野高等学校の振興においては学習指導、進路指導、町内事業所の協力のもと「生きる力」を養うキャリア教育を継続するとともに、通学交通費などの助成を行うほか、新たに資格取得補助に「介護職員初任者研修」受講料補助を加え、支援の拡充を図ります。



上富良野高等学校と小学生の交流事業

社会教育の推進

町民一人ひとりに生涯にわたり自主的に学ぶ機会を提供し、町の社会教育基本方針に掲げる「豊かな心と健やかな体を育み、うるおいのある地域づくりをめざす生涯学習」を推進します。

生涯学習活動の推進では、成人者や高齢者の方々が培った知識や技能を各種学習活動や体験活動に生かし伝えて



快晴の中行われた住民会対抗パークゴルフ大会

いくなど、積極的に力かかりを持ちながら学び合い支え合う人づくり・町づくりを進めていきます。親子が絵本に親しむことで読書活動が促進されるよう、7カ月児を対象に保護者が選んだ絵本を贈る「すくすく絵本（は）しめての読書推進事業」を新たに実施するほか、開基120年の節目を迎え、開拓の歴史を伝え学ぶ教材として紙芝居の製作を進めます。

スポーツの振興ではスポーツ推進委員や関係団体と協力して各種スポーツ大会の開催、指導者の育成支援を行います。また、開基120年記念として町民ふれあいスポーツ大会の充実、夏期巡回ラジオ体操を開催するほか、体育協会創立50周年記念事業へ助成を行うなど、町民の参加機会を創出しながらスポーツ活動を推進していきます。

平成29年度予算の内容は、別冊「知っておきたいことしのしごと」をご覧ください。